



リアスピーカーは
ワイヤレス接続

Hi-Fi思想で設計された サウンドバーセット

サウンドバーで「リアルサラウンド」を再生するモデルが、高額モデルを中心に増加しています。なかでも「DENON HOME SB 550 SET」は、空間再現性に優れたサラウンドや機能性などが高く評価され、VGP2023 SUMMERで金賞を受賞。その受賞理由を解説します。

**後方の音に実在感がある
前後の動きもシームレス**
VGP審査員 岩井 喬

ホームシアターの入口として人気が高いサウンドバー。特に音質のよさと機能性が充実した10万円を超える価格帯の製品群は熾烈な争いを繰り返しています。なかでも近年製品数を増やし、注目を集めているのが「リアルサラウンド」を実現するサウンドバーです。これは高性能なサウンドバーにリアスピーカーを追加したモデルのことで、パーソナルな空間から逸脱した、自然でリアルな音場に包まれる体験を簡単に味わうことができるのが特長です。

このリアルサラウンドの世界を实践するハイエンド製品の中でも、サラウンド再生の完成度が際立つのが、デノンが手掛ける「DENON HOME SB 550 SET (550SET)」です。本機は本来一体型の2ch

サウンドバーである「DENON HOME SOUND BAR 550」に、リアスピーカーとして、1chのワイヤレススピーカー「DENON HOME 150」2台をセットにしたモデル。そもそも550単体は発売以来4期連続VGPアワードで金賞を受賞。150は6期連続金賞を達成してVGPアワードで「殿堂入り」を果たしています。550SETはいわば優秀機を組み合わせたセットということもあり、VGP2023 SUMMERでは基本性能の高さ、リアルサラウンド運用での安定感、音の繋がりよさが評価され、部門金賞を獲得しました。

550SETの特長としてまず紹介したいのが、リアスピーカーをワイヤレス接続できる点。550SETではスピーカーケーブルを使わないため設置の自由度が高く、生活空間を阻害しません。さらにアプリで設置の設定を調整できるため、厳密に置かなくても問題ありません。LDKならダイニングテーブルの上に使うときだけ置くという選択もアリです。というのも550単体はもちろん150単体でも普段聴きの高音質な音楽

サウンドバー

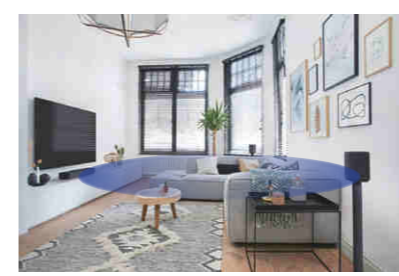
Denon DENON HOME SB 550 SET

¥OPEN



金賞 サウンドバータイプTV用オーディオ (10万円以上15万円未満)

SPEC 【サウンドバー/DENON HOME SOUND BAR 550】●スピーカー構成：2.0ch ●アンプ：6ch Class-Dパワーアンプ ●スピーカーユニット：サウンドバー部/19mmトウイーター×2、55mmミッドバス×4、50×90mmパッシブラジエーター×3 ●接続端子：HDMI出力×1 (eARC/ARC対応)、HDMI入力×1、光デジタル音声入力×1、ステレオミニ入力×1 ほか ●外形寸法：650W×75H×120Dmm ●質量：3.5kg 【リア/DENON HOME 150】●スピーカー構成：1.0ch ●スピーカーユニット：25mmドームトウイーター×1、89mmコーンウーファー×2 ●外形寸法：120W×187H×120Dmm ●質量：1.7kg



臨場感◎

リアルサラウンド

「DENON HOME SOUND BAR 550」は幅650mmとコンパクト設計な2chサウンドバー。それにモノラル再生の「DENON HOME 150」を2台組み合わせた4ch構成のサラウンドです。重低音がもつとほしい方は後からワイヤレスサブウーファーの追加も可能です。



安定性◎

ワイヤレス接続

サウンドバーとリアスピーカーとは、ワイヤレスで接続されます。設定はスマホアプリ「HEOS」を使います。サウンドバーの初期設定時にリアスピーカーの追加を選ぶだけで、自動的にリア用に割り振られるようになっているため、設定も簡単です。



利便性◎

アプリで設定

サウンドバーとリアスピーカーはアプリで距離や音圧レベルの調整ができます。調整しなくてもサラウンドは再生できますが、リアスピーカーの設置位置がバラバラになった際など、この設定を調整することで、よりリアリティのあるサラウンドが体感できます。

再生用スピーカーとして活用できるから。独自のネットワークオーディオ技術HEOSの機能を生かしてAmazon Musicのハイレゾストリーミングなど、手軽に高音質なネットワークオーディオも楽しむことができます。普段は150を寝室に置いたり、ステレオ利用もできることからデスクトップに設置したりしつつ、週末は映画鑑賞用にリアスピーカーとして使う、といったように様々な用途で使えます。

550SETのもうひとつ大きな特長が、AVアンプメーカーならではのサラウンド再生にあります。「トッパガン マーヴェリック」冒頭、戦闘機の発進シークエンスを試聴しましたが、後方から前方への物体移動が重みを伴っており、その動きのシームレスさ、自然な空間の広がりによって圧倒されました。ダイアログの重心の低さと声質の自然さ、音場の密度感も長時間視聴に最適なバランスといえます。また原音に忠実なピュアサウンドモードで聴く音楽もまた格別。伸びやかできめの細かい帯域バランスの整ったサウンドは、Hi-Fiコンポーネント並みの表現

CHECK

映画鑑賞以外にも使える!

独立アンプで駆動するから2chもいい音!

550は音質重視で真円の振動板を採用し、合計6基のスピーカードライバーを搭載。150はトウイーターとウーファーの2ウェイ構成となっています。550は各スピーカーにパワーアンプが個別に割り当てられるアンプ駆動方式を採用していますが、これはデノンのハイエンドAVアンプでも採用される手法で音質を重視した設計です。

別室のBGMとして

リアスピーカーとして同梱されている「DENON HOME 150」ですが、バラバラにして使うこともできます。たとえばベッドサイドに置いてBGM再生に使えます。リアスピーカーとしてリビングに常設する必要はありません。

力の高さを実感できます。それもそのはず、サウンドバー本体には2chにもかかわらず左右にそれぞれ19mmトウイーターと2基の55mmミッドバスを配置。50×90mmのパッシブラジエーターを背面に1基、前方に2基備えています。これらを全チャンネル独立したパワーアンプを搭載するデノンのハイエンドAVアンプと同じように、6ch分のクラスDアンプで駆動。サウンドマスターによるサウンドチューニングによって、Hi-FiコンポーネントやAVアンプにも通じるデノンならではの音質を獲得しているのです。

音質のよさをベースとしつつ、手軽なワイヤレス接続で圧倒的なリアルサラウンドを体感できる上質なシステム提案として、「DENON HOME SB 550 SET」の存在価値は非常に高いです。余裕ができたら専用のワイヤレスサブウーファー「DENON HOME SUBWOOFER」を追加することも美点です。本格的なホームシアターをワイヤレス環境で完結できる、理想的なセットといえるでしょう。

